

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年9月21日(金) 5校時
児 童 1年生 男7名 女5名 計12名
授業者 石橋 豊子

- 1 単元名 のりもののことをしらべよう
教材名 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)

2 単元について

(1) 教材について

この教材の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読むことの(2)内容のイ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」及び、エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。言語活動は、C(2)ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」に対応する。

本教材は、4種類の船についての「やく目」「つくり」「できること」について説明した文である。文章全体は、話題提示、4つの例示、まとめというように、文章構成がとらえやすくなっている。4つの例示は、「やく目」を述べている段落、構造や装備などの「つくり」の工夫について述べている段落、機能などの「できること」を述べている段落から構成されている。これらは、同じ文型で繰り返し説明されており、順序に即しながら内容を正確に読むのに適した教材になっている。

また、「やく目」「つくり」「できること」という観点に沿って並行読書を行い、教材から学んだ説明の文型を活用して「のりものはがき新聞」を作成する学習を位置づける。このことにより、学習したことを生かして順序を考えながら内容の大体を読み、大事な言葉や文を書き抜く力を育成できるものと考えられる。

(2) 児童の実態について

1年生の児童は、「どうやってみをまもるのかな」で、「読み取ったことをみんなの前で発表する」という目的を持ち、動物の「体のつくり」「問いの文」「答えの文」に着目しながら内容を読みとる学習を行ってきた。ほとんどの児童は、教材で学んだ基本文型を基に、読みとったことを挿絵を指しながら説明することができた。

しかし、全体的に文章を順序に気を付けながら読む力は不十分である。まだ内容を読み取れない児童も数名いる。また、読む目的に応じて本を選んだり、文章から大事な言葉を書き抜いたりする経験は少ない。

「はがき新聞」については、今学期から学習のまとめ等に活用している。「はがき新聞」は、発信する相手が明確であり、手軽に作成できるので、子ども達には取り組みやすいものになっている。「はがき新聞」に対する意欲を本単元でも有効に活用していきたい。

(3) 本単元における新聞活用(言語活動)

言語活動として、「のりものはがき新聞」を作成し、家族に乗り物についての情報を発信する活動を位置づける。「のりものはがき新聞」は、乗り物の「やく目」「つくり」「できること」「感想」の4つの観点で構成されたものである。

新聞は、見出しを活用することで、本文に書くべき内容を明確にすることができる良さがあるため、伝える目的に応じた大事な言葉や文だけを端的に書き抜くための学習に活用するのに適している。

本教材で身に付けた事柄の順序を説明した文章を読む力を生かし、図鑑等から必要な情報を収集して「のりものはがき新聞」を作り、家族に配達するという活動へと広げ、目的を持って主体的に学ぶ児童の育成を図っていきたい。

3 単元の目標

○いろいろな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を事柄ごとに正しく読み取り、ほかの本で読んで調べたことをまとめることができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・いろいろな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」に興味を持ち、調べるために本を読んでいる。	・「やく目→つくり→できること」という順序に気を付けて内容を正しく読み取っている。(イ) ・「やく目」「つくり」「できること」を表している大事な文や言葉を書き抜いている。(ウ)	・文の中における主語と述語との関係に注意している。 伝国(1)イ(カ)

5 単元の指導計画(12時間)

過程	主な学習活動	評価規準
つ か む	第1時 ○教師が作った「のりものはがき新聞」を提示し、乗り物には「やく目」「つくり」「できること」があることを知り、学習課題を設定する。 乗りのじまんをみつけて「はがき新聞」に書き、家族に配達しよう。	【関】「のりものはがき新聞」を通して、乗り物の「やく目」「つくり」「できること」について興味・関心をもっている。
	第2時 ○学習計画を確認し、単元の見通しをもつ。	【関】「のりものはがき新聞」を作成することに関心をもっている。
	第3時 ○段落ごとに話題になっていることをつかみ、文の構成の大体をおさえる。 ○4種類の船について「やく目」「つくり」「できること」の構成になっていることに気付く。	【読】段落ごとに書かれている船の順序に気を付けながら読んでいる。 (読イ)
	第4時 ○並行読書の仕方について知る。(乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を見つけたら、付箋をはっておくこと) ○新出漢字やカタカナの書き方について知る。	【関】乗り物の「やく目」「つくり」「できること」について関心を持ち、乗り物のことが書いてある本を読もうとしている。
深 め る	第5時 ○きやくせんの「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「きやくせんはがき新聞」にまとめる。	【読】きやくせんの「やく目」「つくり」「できること」について教材文や写真などから読み取り、「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ)
	第6時 ○フェリーボートの「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「フェリーボートはがき新聞」にまとめる。	【読】フェリーボートの「やく目」「つくり」「できること」について教材文や写真などから読み取り、「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ)

第 7 時	○ぎよせんの「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「ぎよせんはがき新聞」にまとめる。	【読】ぎよせんの「やく目」「つくり」「できること」について教材文や写真などから読み取り、「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ)	
	○しょうぼうていの「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「しょうぼうていはがき新聞」にまとめる。	【読】しょうぼうていの「やく目」「つくり」「できること」について教材文や写真などから読み取り、「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ)	
	○補助教材から乗り物を1つ選び、全員で「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、「のりものはがき新聞」にまとめる。	【読】補助教材から「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ)	
広 げ る	第 10 ・ 11 時	○自分の選んだ乗り物について、本や図鑑を読み取り、「のりものはがき新聞」にまとめていく。	【読】「役目」「つくり」「できること」について、関係付けて読み取り、整理して「はがき新聞」にまとめている。 (読ウ) 【言】主語・述語に気をつけて「はがき新聞」を書いている。 伝国(1)イ、カ
	第 12 時	○完成した「のりものはがき新聞」を読み合い、感想を交流する。 ○単元の振り返りを行う。	【関】「のりものはがき新聞」の交流を通して、友達の書き方の良さを見つけて感想を伝え合っている。

6 本時の指導 (8/12)

(1) 目標

しょうぼうていの「やく目」「つくり」「できること」について読み取り、「しょうぼうていはがき新聞」にまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価
つ か む 3 分	1 前時の学習を想起する。	・漁船のじまんを書いたはがき新聞を家族に読んでもらった時の感想を発表させ、学習の意欲付けを図る。
	2 本時の学習課題を確認する。 しょうぼうていのじまんと、はがきしんぶんにかいて、はいたつしよう。	
見 通 す	3 課題解決の見通しをもつ。 ○じまんとは、「やく目」「つくり」「できること」であること、「やく目」「つくり」「できること」が分かる言葉があったことを確認する。	・「～ためのふねです。」という言葉に着目することで「やく目」が分かることをおさえる。 ・「このふねは～います。」という言葉に着目すると「つくり」が分かることをおさえる。

8分		<ul style="list-style-type: none"> ・「～します。」という言葉に着目すると「できること」が分かることをおさえる。
27分	<p>4 課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やく目」「つくり」「できること」について読み取る。 ○順不同に提示された教材文を、「やく目」「つくり」「できること」の順序に並べ替える。 ○なぜそう考えたのかを話し合う。 ○教科書で確認する。 ○消防艇の「やく目」「つくり」「できること」を確かめる。 <p>5 やく目とつくりの関係について深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポンプやホースをどのように使い、火事を消すのか、「やく目」と関連させて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホースの先（放水銃）が「動くこと」「たくさん付いていること」「高い場所や低い場所に付いていること」に気付かせ、その良さを、「船の火じを消すための船」をキーワードに考える。 <p>6 消防艇のすごいところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書から見つけたり、話し合いで分かたりしたじまんをはがき新聞に書いてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文の言葉から根拠となる考えを説明させる。 ・「やく目」「つくり」「できること」の順序を考えながら、学習場面を音読する。 ・「～のためのふねです。」、「～をつんでいます。」、「～があります。」の言葉に着目させながら確かめる。 ・消防艇は火事を消す「やく目」があるために、船の中の「つくり」も関連していることについて考える。 ・消防艇のじまんと「しょうぼうていはがき新聞」にまとめる。 <div data-bbox="911 1330 1437 1666" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>◇消防艇の「やく目」「つくり」「できること」について、教材文や写真から読み取り、「はがき新聞」にまとめている。</p> <p>支援を要する児童への手立て</p> <p>板書の「やく目」「つくり」「できること」に着目させる。</p> </div>
まとめ 7分	<p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防艇のはがき新聞を発表する。 <p>8 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やく目」「つくり」「できること」が書かれているか友達の発表をよく聞く。 ・消防艇の自慢を書けたかどうか読み返す。

(3) 板書計画

いろいろなふね

しようぼうていのじまんを、はがきしんぶんにかいて
はいたつしよう。

しようぼうていは、ふねのかじをけすためのふねです。
このふねは、ポンプやホースをつんでいます。
かじがあると、水やくすりをかけて、ひをけします。

写真

やく目

ふねの火じをけすための

つくり

ポンプやホースをつんでいる。

できること

あると、水やくすりをかけて火をけす。

しようぼうていのすこいところ